

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

令和4年
11/15(火)
14:10~15:05

本物のオペラも鑑賞できてよかった
東西南北の小学6年生が全員集まれとてもよかった

びわ湖ホール声楽アンサンブル公演

子ども向けオペラ「泣いた赤おに」

■場 所：能登川コミュニティセンター
■共 催：(一社)能登川地区まちづくり協議会
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

能登川地区4小学校の6年生全員(205名と教職員13名)を招きました。今回で5回目になります。
友情をテーマにした子どもたちに人気の珠玉のオペラ鑑賞は、涙や笑いで堪能したひと時となりました。



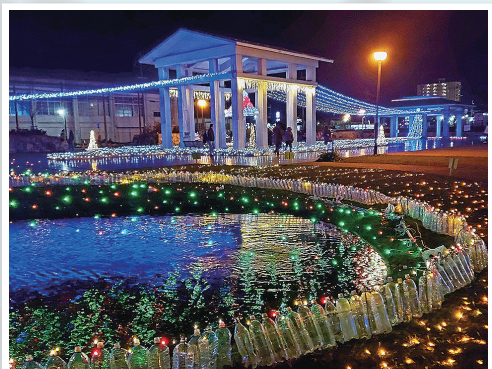
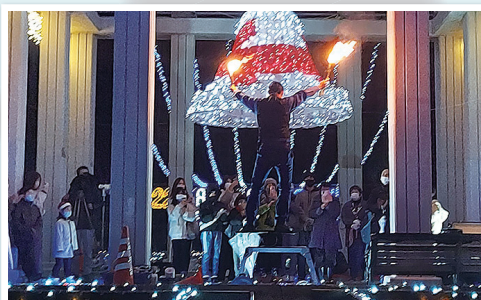
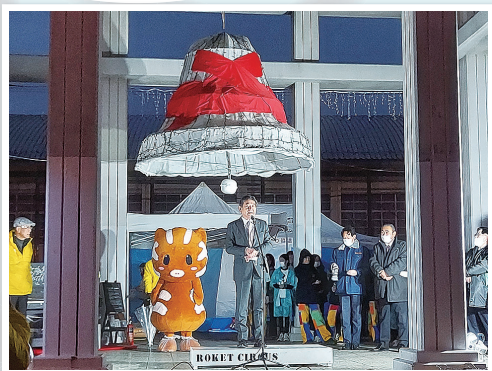
令和4年
12/17(土)~12/25(日)

小さな光がつなぐ大きな絆

第19回 2022 Lighting Bell in NOTOGAWA



■主催：ライティングベル実行委員会 ■共催：(一社)能登川地区まちづくり協議会



NO. 95

防災・減災あれこれ

防災知っ得！「フェーズフリー」

某TV局の防災番組を見ていたら、『フェーズフリー』という聞きなれない言葉を耳にしました。直訳すれば日常時と非常時という二つの局面をフリーにすることで、身の回りにあるモノやサービスを日常時は勿論非常時にも役立てる事が出来るという考えらしいです。

防災用品のほとんどは、普段しまい込んでいて非常時に取り出して使いますが、日常時、生活で便利に活用出来、非常時のもしもの時に、役立つモノ・サービスアイデアがフェーズフリーです。平時と有事に両用出来るものとして番組ではさまざまな商品の紹介がありました。例えば、身近なものでは風呂敷で、頭巾・抱っこ紐・ウエストポーチ・仕切り等に代用。手提げバックは内側撥水加工でバケツ代わりに、今ではあちこちで目にするかまどベンチ等、変わったところでは、タイヤ付き仕様のコンテナホテル（五個荘の8号線沿いにあるような）は、有事の際に牽引して被災地に移動し、避難ホテルにとか

臨時の医療施設に代用すると番組では説明がありました。コンテナのトランクルームも同様です。

また、フェーズフリーな道の駅として、有事には食料品売り場を住民に開放したり、普段使用していない屋上を避難駐車場として開放する為のスロープを設置している鳴門にある道の駅の紹介もありました。

要は、**備えない日常！備えない防災！**が今後の防災の在り方と、私は感じました。

また、昨年12月16日(金)に開催された能登川地区防災研修会（下記記事）で講師の阪本真由美先生が、普段から食料品は多めに買っておく、ご近所との普段のお付き合いも一種のフェーズフリーとの事。

皆さん、身近なものからフェーズフリーを見つけられたら如何ですか？

参考文献 (一社)フェーズフリー協会 HP より

■能登川地区防災・減災連絡会
北崎 富三

令和4年
12/16(金)
19:00~20:30

能登川地区防災研修会開催

- 場 所：能登川コミュニティセンター
- 参加人員：51名
- 共 催：能登川地区自治会連合会、(一社)能登川地区まちづくり協議会
能登川地区防災・減災連絡会
(のとがわ福祉の会、東近江市能登川赤十字奉仕団)
(能登川地区民生委員・児童委員協議会
能登川地区老人クラブ連合会)
- 講 師：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 阪本真由美 教授
- 演 題：「これからの自主防災活動と地区防災計画」



東日本大震災・西日本豪雨等近年の災害対応の経験からの自主防災活動のポイントと「地区防災計画」への取り組みについてお話いただきました。

その後、(一社)能登川地区まちづくり協議会安全・安心事業部から、県主催の「地区防災計画策定推進モデル事業」に参画した「能登川東小学校区地区防災計画素案（水害編）」を提示し、計画策定に向けての説明を行いました。

令和4年
11/11(金)・11/21(月)



フラ輪ープロジェクト <花でつながる地域の輪>

～能登川中学校生徒会美化活動～

11月11日(金) JR 能登川駅西口 能登川中学校生17名がピオラとクリサンセマム（ノースポール）を28基のフラワーポットに…

11月21日(月) JR 能登川駅東口 能登川南小学校生16名がパンジーを10基のフラワーポット植えました。

■協力：(一社)能登川地区まちづくり協議会環境事業部・地元有志・東近江市能登川支所



令和4年
11/12(土)

令和4年度 滋賀県青少年育成県民大会 滋賀県青少年育成県民会議顕彰

大橋 正徳氏 (東近江市種町)

青少年市民育成会議能登川支部の支部長として、長年にわたり、「あいさつ運動」をはじめ地域の子どもの健全育成や、安全安心のまちづくりに大きく貢献され、今回の表彰となりました。



彦根市みずは文化センターにて

令和4年
11/23(休)

干支「卯」をテーマに 手作り教室



- 場 所：能登川コミュニティセンター
- 主 催：能登川地区子ども会指導者連絡協議会 (地区子連)

<赤い羽根共同募金助成金事業>



青少年の健全育成と体験活動を目的に開催し、参加した26名の子どもたちは令和5年の干支「卯」を題材に色紙や、割箸・竹・木を使ったランプシェードの制作に挑戦しました。

スタッフ7名が見守るなか、悪戦苦闘するも巧みな作品を完成させました。これらの作品は能登川地区子ども芸術展(12月2日~12月4日)期間中を含め、能登川コミュニティセンターに12月22日(木)まで展示(写真左)されました。

令和4年
12/2(金)~12/4(日)

能登川地区子ども芸術展

- 場 所：能登川コミュニティセンター
- 入場者：延べ3,700人
- 主 催：能登川地区子ども芸術展実行委員会 (事務局：コミセン)



子ども園・幼稚園・小学校・中学校の園児や生徒の絵画・書・立体作品約1,900点を展示。



コミセン講座 能登川水車塾 秋の部 開講

能登川地区のシニア世代を対象に、生涯学習の場・おでかけの場・健康で生きがいのある生活づくりを目的に春・秋各4回ずつの講座を開催。受講生の皆さんは、ものづくりや健康体操、映画や音楽鑑賞など幅広い内容を楽しまれています。

- 場 所：能登川コミュニティセンター
- 受講生：48人



しめ縄飾りづくり



タオル体操

令和5年度の助成対象公益事業を募集します！

- 公益財団法人 五峰興風会 (東近江市佐野町23番地)

当財団では、能登川地区で公益事業に取り組んでおられる団体への資金助成を行っています。令和5年度の公募を次のとおり実施します。関係団体の応募をお待ちします。

助成の対象は、東近江市能登川地区を中心とする付近一帯の住民の幸福維持増進ならびに地区自治の発展に関する公益事業で、応募期間は4月1日(出)~5月15日(月)です。

また、財団の事務所建物“五峰興風館”(展示室、ホール等)の施設貸与も行っていきます。

いずれも詳しくは財団のホームページ (<http://gohoukouhuukai.com>) をご覧ください。

お問い合わせは、ホームページ内のメールフォームまたは FAX 0748-42-3901 にてお願いします。

能登川のむかし話

【シリーズ32】

チョンチョンつき

むかしは、夜廻りするときに、必ず「チョン、チョン」がつきまとう、というたもんでなあ。今のように街灯もなかったし、懐中電灯もないし、家の中ではランプを使うてたんで、村の中はたいそう暗かったんや。



「お前の夜廻りのときもつきよったんかいな。私も『チョン、チョン』につかれてなあ、ほんまにこわかったわいな」と言いおうたもんや。

そのチョンチョンがつきよる場所は、必ずまっつとつてな、大きな杉の木が道づたいに植つていて、奥の方は桑の木畑になるところやつた。ほら、昼でも暗いとこやで、走つて通りぬけたもんや。夜廻りが太鼓をもって、「ボン、ボン」たたいてそこを通ると、そのしりからなあ、「チョンチョン、チョンチョン、チョンチョン」

大きいこともない、小さいこともない音がつて、家へ帰るまで後をついて来よるんや。急いで帰つて、錠前をしつかりして様子をつかごつてると、屋根棟で「チョンチョン、チョンチョン」

しばらくは、その音が聞こえたもんや。「チョンチョンの正体は、カワウンヤるか。一体なんやろ」言つて、当時、村では大変不思議がったもんや。



出典：「能登川のむかし話」
昭和55年能登川町教育委員会

「能登川のむかし話」を検証 ～ 栗見出在家町へ行ってきました～



むかし話の桑の木畑の存在を知る方はみつからず、「神社の裏の堤防辺りかなあ？」という一言を頼りに付近を歩いてきました。ちょうど愛知川が琵琶湖へ流れ込む堤防付近は畑が広がっていましたが、桑の木はわかりませんでした。

神明神社の脇に、平成18年(2006年)に建てられた《開村二百年記念碑》があり、度重なる河川の氾濫や琵琶湖の増水という過酷な自然条件の中、農地を拓け村の発展に苦勞された先人への感謝が刻まれていました。

正体はわかりませんが、「チョンチョンつき」に怖がりながらも村を守るために夜廻りをする日常の一コマが浮かび上がるお話でした。

(広報部：K&I)



【桑畑】インターネット画像より

地域のイベント

能登川コミュニティセンター

田井中 福司 スペシャルライブ in 能登川

時 2月12日(日) 14:00 開場 15:00～ ￥500円

主 (一社)能登川地区まちづくり協議会

第22回 元気のつどい

時 3月4日(土) 9:30～12:00

主 (一社)能登川地区まちづくり協議会 健康福祉事業部
認知症・生活習慣病予防の大きな鍵を握っているは野菜パワー
あなたの野菜摂取量は十分ですか？健康長寿に役立つ情報を…

段ボールコンポスト講習会

時 3月11日(土) 10:00～11:00

主 (一社)能登川地区まちづくり協議会 環境事業部
「家庭で手軽にできる堆肥づくり」、生ごみ削減、自然に優しい環境づくりに取組みませんか？

懐かしの音楽を…

第8回 レコードカフェ

時 3月8日(水) 13:30～15:30

主 無料(飲物は@100 別途 希望者のみ)

主 能登川地区住民福祉活動計画推進会議

主 (一社)能登川地区まちづくり協議会 まちづくり事業部
非日常の空間へ…。

時間を気にせず、こだわりのレコードでお楽しみください。
どなたでもご参加いただけます。

主 上記いずれも (一社)能登川地区まちづくり協議会
IP 050-5802-2793



やわらぎの郷公園

第8回 まち協グラウンドゴルフ大会

時 3月25日(土) 8:30～ ￥無料

主 受付：2月8日(水)～2月16日(木)
9:00～17:00 (土日祝除く)

主 定員：160名(先着順)

*所定の申込用紙にご記入の上、お申込みください。

主 主 関 (一社)能登川地区まちづくり協議会
施設運営事業部 IP 050-5802-2793

能登川博物館

第25回 能登川中学校卒業制作展

スポット展示「きらめく先輩」

時 2月24日(金)～3月5日(日) 10:00～18:00

*最終日は13:00まで

能登川中学校3年生の卒業を記念した展示会を開催します。
「きらめく先輩」では、造形作家/アトリエカフェ代表の
周防苑子さんを紹介いたします。

主 関 東近江市能登川博物館 TEL 0748-42-6761

※記号の説明 時=日時 申=お申し込み 料=費用 関=お問い合わせ 主=主催 共=共催 賛=協賛 力=協力 援=後援

新型コロナウイルス感染症の状況により、変更・中止の場合があります。